【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成20年12月4日(2008.12.4)

【公開番号】特開2007-117130(P2007-117130A)
【公開日】平成19年5月17日(2007.5.17)
【年通号数】公開・登録公報2007-018
【出願番号】特願2005-309276(P2005-309276)
【国際特許分類】
　Ａ６３Ｆ　　5/04　　　(2006.01)
【ＦＩ】
　Ａ６３Ｆ　　5/04　　　５１２Ｖ
　Ａ６３Ｆ　　5/04　　　５１２Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成20年10月16日(2008.10.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　遊技球を貯留する貯留部と、
　該貯留部から流下する遊技球を導入し、該遊技球の通過を許容又は阻止する遊技球処理装置と、
　該遊技球処理装置を収容する収容部と、
を備え、
　前記遊技球処理装置は前記収容部の開口部を通じて所定方向にスライド移動させることで着脱可能な構成であり、
　さらに、前記遊技球処理装置を取り外し不可とするロック状態と取り外し可能とするアンロック状態とに切り換え可能な切換部材と、
　該切換部材が前記ロック状態に切り換わることに連動して前記貯留部に設けられた前記遊技球処理装置への球出口の遊技球の通過を可能とする開位置に移動し、前記アンロック状態に切り換わることに連動して前記球出口の遊技球の通過を不可とする閉位置に移動する開閉部材と
を備え、
　前記切換部材は、当該切換部材の切り換えに伴って前記収容部の開口部に対して出没することで、前記ロック状態では前記遊技球処理装置の取り外し側端面に当接し、前記アンロック状態では当接しない当接部を有していることを特徴とする遊技機。
【請求項２】
　前記切換部材が前記アンロック状態に切り換えられる場合、前記遊技球処理装置が取り外し可能となる前に前記開閉部材が前記閉位置に到達するようにしたことを特徴とする請求項１に記載の遊技機。
【請求項３】
　前記貯留部は、遊技機の前面部において左右方向に延びる皿状をなし、その一部に前記球出口を有し、
　前記開閉部材は、前記貯留部の下方において該貯留部の底部に重ねて配置され、一端が前記球出口に対して出没することを特徴とする請求項１又は２に記載の遊技機。
【請求項４】

前記切換部材を前記アンロック状態に保持するアンロック状態保持手段を設けたことを特徴とする請求項１乃至３のいずれか１に記載の遊技機。

【請求項５】

前記切換部材を前記ロック状態に保持するロック状態保持手段を設けたことを特徴とする請求項１乃至４のいずれか１に記載の遊技機。